

07 JULY

環境自治体会議「しほろ会議」 持続可能な生産と消費に向けて

北海道士幌町

EVI推進協議会よりパネラーとして登壇！



掲載写真 提供:環境自治体会議事務局

環境自治体会議に参加

自治体を取り組む環境政策

平成29年度第25回環境自治体会議が、5月25日(木)・26日(金)の2日間、「生産地と消費地の連携による持続可能な地域づくり」をテーマに、北海道士幌町総合研修センターにおいて開催された。環境自治体会議とは環境政策に積極的に取り組む全国の自治体で構成されており、自治体や団体間の情報共有などを通じて環境政策を推進するために毎年行っている。今年も全国から環境について共に考え、あらゆる分野・立場の方々と討論・意見交換が行われ、第1分科会「自立循環型地域づくりは人づくり！」ではワールドカフェ方式で賑やかに、第2分科会「人とエネルギーの地産地消大作戦」は話題提供者を囲み、第3分科会「士幌に学ぶ地産地消」ではフィールドワークと、多彩なプログラムで構成された。

総括セッションでは150人を超える参加者を得て、「持続可能な生産と消費に向けて」をテーマに、中口事務局長をコーディネーターに、EVI推進協議会 加藤孝二(カルネコ株式会社社長・内閣府地域活性化伝道師)が生産者の立



お買い物を通して環境貢献する仕組みを説明するEVI加藤

例や活動を紹介した。他に、生活クラブ生協北

場からパネラーとして登壇。独自に行った消費者の環境意識調査の結果から「お買い物を通して環境貢献」の仕組みに着目。EVIの事

EVI推進協議会の取り組みと

UNDP国連開発計画SDGsグローバルゴールズ

SDGsの目標17項目は、いずれも「持続可能な開発」「民主的なガバナンスと平和構築」「気候変動と災害に対する強靱性」という、UNDPの戦略計画の重点分野と結び付いている。

EVIは、「日本の森と水と空気を守る」をコンセプトに市場メカニズムの森林クレジットを活用した、国内における環境貢献をコンセプトに特化した活動を行い、カーボン・オフセットの普及と普段のお買い物を通して環境貢献ができる仕組みや事例を数多く提供している。この活動を通して地域に根ざした商品の開発と環境貢献を同時に実現し、持続可能な地域の活性化に役立つプラットフォームを目指している。

海道・山崎栄子氏、行政の立場から環境省環境教育推進室長・永見靖氏をパネリストに迎え、意見交換が行われた。永見氏は会議の資料でも持続可能な開発のための2030アジェンダSDGs「持続可能な開発目標」を取り上げ、政府の取り組みと自治体の支援について紹介した。

SDGsの目標 17項目の内、「11.住み続けられるまちづくりを」「12.つくる責任つかう責任」「13.気候変動に具体的な対策を」など、国連が定めたグローバル・ゴールズと図らずも符合する活動を推進している。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



環境先進自治体「足立区」と連携 「地球環境フェア2017」 EVIブース出展!



間伐をイメージした
クリップやアニマルチャームなど、
間伐材を使った木工品を販売。



もっと身近に!
EVIは日本の森と水と空気を守ります
EVI推進協議会(カルネコ株式会社)

普段のお買い物を
通して環境貢献!!
もっと身近にカーボン・オフセット!

楽しみながら環境意識を高め
取組みの輪を広げる!
EVI推進協議会は、2017年
5月20日、21日、足立区役所にて
開催された「地球環境フェア
2017」(主催者発表両日で1
万8千人)に参加し、森林支援に
つながる木製品の販売や、間伐材
のうちわを使ったワークショップ
などを行った。スタンプラリーの
ポイントにも選ばれ、動物クリッ
プシリーズや森の木組みキャラク
ターシリーズに関心がよせられ
た。また、約30人の環境に関心が
ある区民の皆さんが参加してミニ
講座を開催。カルネコEVIが講
師を担当し、地球温暖化や森の大
切さを熱心にお聞きいただ
いた。通路壁
面スペースで
は、足立区環
境部とのこれ
までの関わり
の活動パネル
や環境貢献型
商品の展示。
これからも自
治体と連携
し、EVIの
取り組みを広
めていきたい。



※排出量算定協力
(株)ウェストボックス

販促ツール1個から
発注可能! POP1個に
つき1円を環境保全に!
カーボン・オフセットのご報告

販促ツールや外装材を1個から発注可能にするカルネコは、「CO2排出ゼロ宣言」の取り組みとして、2016年度のPOPPツールと配送用外装材の製造時に排出するCO2全量をEVIを通してカーボン・オフセットし、環境保全に貢献している。POPPツールより1128t、配送箱などの外装材を208t、合計1336tのCO2排出量をカーボン・オフセットしており、引き続き環境保全を全うしている。
カルネコは、ご利用いただいている企業の「販促費削減」と「CO2排出量削減」の両方に貢献し、利用数に応じてCO2削減量をCSR報告書に記載いただくことができる。カルネコは、これからも引き続きカーボン・オフセットの取り組みを続けていく予定だ。

企業・自治体様も必見です!

EVIを活用し、商品やサービスの提供を通じて環境貢献に取り組んでみませんか?
EVIを導入した企業のCSVをセミナー形式でご紹介!

<全国の環境マッチングセミナー開催・講演依頼のお問い合わせはこちら>

企業・地方自治体・森林事業者・消費者などを
対象に事前にお打ち合わせをプログラムを決定いたします。
全国10ヶ所で実施予定。お気軽にお問い合わせ下さい。

右の二次元コードまたはURLからEVIの
「お問い合わせ」ページよりご相談ください。
担当の者よりご連絡させていただきます。
<http://www.evico.jp>



予告

EVI環境マッチングイベント2017

—持続可能な社会のための環境貢献最先端成功事例—

■日時: 10月24日(火)10:00 開場・受付(予定)
■場所: 東京国際フォーラム(有楽町) B7ホール
■主催: カルネコ株式会社 EVI推進協議会